

「公益信託ENEOS水素基金」2007年度 助成対象者の決定について

記者各位

当社(社長:西尾 進路)が設定した「公益信託ENEOS水素基金(運営委員長:太田 健一郎 横浜国立大学大学院教授、受託者:中央三井信託銀行)」は、この度、2007年度 助成対象者6名を決定しましたのでお知らせいたします。

本基金は、地球環境と調和したエネルギーである水素エネルギーの供給に関する、独創的、かつ先導的な基礎研究への助成を行い、もって水素社会実現に貢献することを目的として、2006年3月に創設しました。(信託財産の規模は総額15億円であり、約30年間、安定的に研究を助成することが可能)

本年度は、2月下旬から4月末までの間に合計40件の応募があり、8月2日(木)に開催した本基金の運営委員会において、「本基金設立の趣意との整合性」、「独創性・新規性」、「研究計画の妥当性」等につき公正かつ厳格に審査を行い、6名の助成対象者を決定したものです。

当社は、グループ理念に「Your Choice of Energy エネルギーの未来を創造し、人と自然が調和した豊かな社会の実現に貢献します」を掲げ、本基金の助成する研究が、1日も早い「水素社会」の到来につながることを期待しています。

以上

別添資料  [2007年度 助成対象者および研究テーマ](#) (PDF:17.0KB)

別添資料  [「公益信託ENEOS水素基金」の概要](#) (PDF:415.8KB)